

■佐藤雪山 越後の和算学者。縮商老舗の経営しながら、世界的水準に達していた和算史に最後の光芒をはなった。
さとうせつざん
黒住教・・・1814＝ 越後国小千谷で、縮商佐藤総本家の又分家{金沢屋}佐藤弥七(三代菊右衛門)の子に生まれる。名は虎三郎。母イシの一族には関流和算家長井熊三郎がいた。

家業が繁盛して豊かな恵まれた環境のなか、特異な神童ぶりを発揮する一方、謙虚で真面目に育ち、

水野忠成老中1818＝ 4歳： 塾の先輩にまで一目を置かれるようになり、11も年上の広川亀七(後の晴軒)と生涯の友となるが、
群書類従完結1819＝ 5歳： 近所の{田中塾}に入門、

伊能図完成・1821＝ 7歳： 父の机に天文学の本を見つけて興味を抱いて教えてもらうなど、父から大事にもされ、
シボ^ノ朴来日・1823＝ 9歳： 父が死去したため、
シボ^ノ朴鳴滝塾1824＝10歳： 塾を止め、家業継いだ兄徳太郎(四代菊右衛門)を手伝うようになる。
異国船打払令1825＝11歳： 母が実家に行った折、たまたま帰郷していた長井熊三郎に出会い、子虎三郎の話をして興味を持たれ、長井と面会、算学者になるよう勧められ、貸して貰った「塵劫記」に挑戦。

シボ^ノ朴事件・1828＝14歳： 三条地震。
実力が知れ渡ると、周りに算学に関心強い青年が集まるようになり、仲義助・渡部太郎と同志になる一方、家業で江戸の得意先を回る際、暇を見つけては、内田五観や瑪得瑪弟加塾に学び、

鼠小僧磔・・・1832＝18歳：
天保大飢饉始1833＝19歳： 末の妹が死去。同志と、小千谷の二荒神社に_当時の先端に行く円理の問題と解答例示す算額を奉納。

滑稽+人情本 1835＝21歳： _草稿「関流算法諸表集」に“関流正統八伝数斎佐藤解記”と記載。仲介してくれる人があって、代表的遊歴算家であり優れた教育者でもあった坎山山口和に会い、入門。
・・・・・・1836＝22歳： _「算法円理表集」を著わす。
大塩平八郎乱1837＝23歳： 兄が病弱だったことから、家業も忙しくなる。_正統六伝長谷川寛が死去し、山口和が七伝となる。
適塾オープン・1838＝24歳： _見題・隠題免許状を受ける。
勸進帳初演・1840＝26歳： _師坎山とともに長谷川寛の三周忌に参列し、伏題免許状を受ける。「算法円理軌線」を書く。
天保改革始・1841＝27歳：
天保改革弾圧1842＝28歳： _別伝免許状を受ける。広川晴軒に加え、石阪栗堂の3人の強い交流が始まる。
順天堂始・・・1843＝29歳： 藤塚イトと結婚し、長男理三郎が誕生。山本賀前と共編で「算法題術集覧」を著わす。
天保改革終・1844＝30歳： 兄が死去、菊右衛門を襲名し{金沢屋}を経営、苦闘の時代が始まるなか、
阿部正弘首座1845＝31歳： 自宅に*算学道場{通機堂}を開く。
孝明天皇・・・1846＝32歳： 長男理三郎が疫病で夭折。*「算法円理三台」出版、大反響となり、次々増刷される。
・・・・・・1848＝34歳： 次女セキが誕生。
北斎没・・・1849＝35歳： 長女が死去。
国定忠治磔・1850＝36歳： 三男子幸三郎が誕生。寿慶庵に佐藤菊右衛門家の墓を建てる。村山禎治入門。_師山口和が死去。
尊徳報徳論・1851＝37歳： 兄の遺児ヒロに、藤野清蔵を婿に迎える。*流祖関孝和から伝えられた正統八伝の証の硯を受ける。

ペリー来航・1853＝39歳： 弟子村山禎治が免許を受け、帰郷して村山かねと結婚。
開国開港・・・1854＝40歳： 次男が死去。菊右衛門名跡を清蔵に譲って、_分家し、塾{通機堂}に兼ねて薬種業を営む。
安政大地震・1855＝41歳： 妻イトが死去、続いて、母イシも死去。
松下村塾・・・1856＝42歳： イトの遺言でその妹ヌイと再婚するが、
蕃書調所・・・1857＝43歳： 後妻ヌイまで死去。
五ヶ国条約・1858＝44歳： さらにヌイの子虎四郎が夭折。三番目の妻高野某を迎える。*刈羽郡平井村の代官高野六太夫の依頼で田畑測量、正式入門した広川晴軒に助手を頼む。土御門家に暦道熱心の願いが聞届けられるも、病に倒れ、
安政の大獄・1859＝45歳： 末子五三郎夭折後、_没した。